

# たかくらっ子だより

発行責任者 渡辺 博明 発行日：令和4年3月11日

学校教育目標：自ら未来を拓き、共によりよく生きる子どもを育てる



HPのQRコード

## あれから11年。震災を忘れず、命と心を守ります

11年前の今日、その日は、今日と同じ金曜日でした。中学校では卒業式が行われ、小学校では年度末のかけがえのない時間を過ごす日々でした。午後2時46分。その地震は、何の前触れもなく、突然、襲ってきました。その後の、大津波の発生、それに伴う原子力発電所の爆発事故は、皆様の脳裏にも、忘れられない記憶として残っているかと思えます。

今、なお、放射能への対策は続いており、被災地の復興は道半ばです。風化と風評の課題と共に、簡単には拭い去ることができない負の財産を、福島に生まれ、福島に生きる子どもたちの未来に残してしまったことは、一人の大人として痛恨の極みです。

本日、各学級において「放射線教育」も一斉に行い、昼には、オンラインで震災について伝える場を設けました。校長からは、震災のこと、命を大切にすること、人は支え合って生きるということを話しました。

生きてくても生きられなかった人がいます。

救えなかった命を思い、苦しみながら生きている人がいます。

自分がどんなに辛くても、小さな命を守ろうとした人がいます。

それらの人々のことを忘れず、今日という一日を大切にしながら、引き続き、子どもの「命と心」を守る学校であり続けることを、改めて決意しました。

また、子どもたちには、今日、家に帰ったら、11年前の震災のことをご家族に聞いてほしいとも伝えました。保護者の皆様の思いと共に、子どもたちにお話をいただけたらありがたいです。



当時を画像で振り返る（1年）

## たくさんの支えに、感謝いたします

年度末、高倉小を支えてくださったお二人の先生と、お別れすることとなりました。今までのご協力に感謝すると共に、今後のご活躍を心から祈念いたします。

### <スクールサポートスタッフの先生>

毎日、学校の消毒・清掃業務、先生方のサポートを中心に支えていただきました。ピカピカの廊下や窓が、高倉小の新しい自慢の一つになりました。いつも「高倉の子どもたちがかわいい」と言いながら、労を惜しまず働く姿に多くを学びました。ありがとうございました。



### <サポートティーチャーの先生>

週に1度、図書館の整備を中心に、ご支援いただきました。新しい本が入るたび、ラベル貼りなど、貸し出しの準備を行っていただきました。いつも、丁寧に作業されていて、子どもたちが本を借りたくなるような環境をつくっていただきました。ありがとうございました。